この[*1、2]自主点検表は、日ごろ使用されている住宅部品の状況を、年に一度くらい（[*3]住宅部品点検の日10月10日）を目安に、お客様自身で確認していただき、不具合、劣化兆候があれば、専門家（[*4]製品購入先、メーカー）に速やかにご連絡いただき、整備・修理等を受けて、住宅部品をより安全に、安心して、快適にお使いいただくことを目的としています。
また、[*5]住宅履歴情報の情報項目の一つとしてご活用いただくことをお願い致します。

＊1　この点検表には消費生活用製品安全法　長期使用製品安全点検制度での特定保守製品（浴室暖房乾燥機、食器洗い乾燥機、屋内設置ガス給湯器、石油給湯機）が含まれていますが、ここでの点検は法定点検ではありません。
　別途、製品に表示された点検期間になりましたら特定製造事業者（メーカー）による法定点検を必ず受けていただく必要があります。詳細については経済産業省のホームページ（http://www.meti.go.jp）「製品安全ガイド」及び該当メーカーのホームページをご参照ください。

＊2　美観等の製品劣化（例：製品の汚れ、錆、変色）に関する項目は取上げておりません。メーカー使用説明書等での日常のお手入れをご参照ください。

＊3　リビングアメニティ協会では、お客様に住宅部品のお手入れや点検の意義、必要性をご認識いただき、住宅部品をより安全に、安心して、快適にご使用いただくことを目的として、10月10日を「住宅部品点検の日」に定めております。

＊4　製品購入先は、販売店、ハウスメーカー、工務店、施工事業者等です。

＊5　住宅履歴情報とは、住宅の設計、施工、維持管理等に関する情報で、住宅維持管理やリフォーム、売買時等に有効に活用することができます。
　一般社団法人　住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会では、愛称「いえかるて」として住宅履歴情報の活用と普及を推進しています。（44ページをご参照ください）

一般社団法人 リビングアメニティ協会

3 給湯機器まわり／（1）ガス給湯器

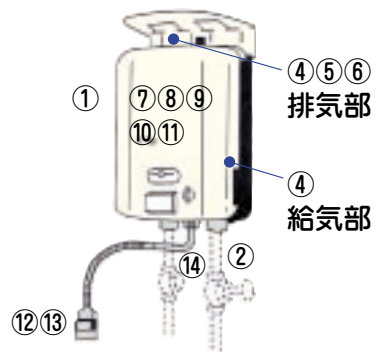
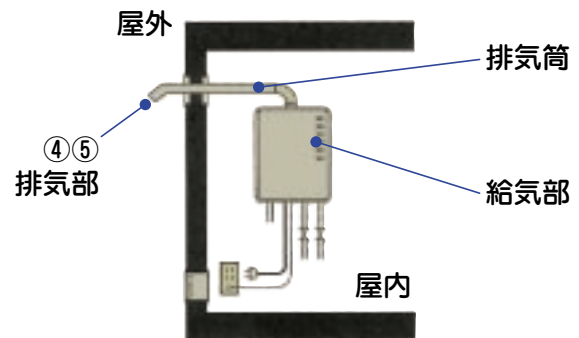
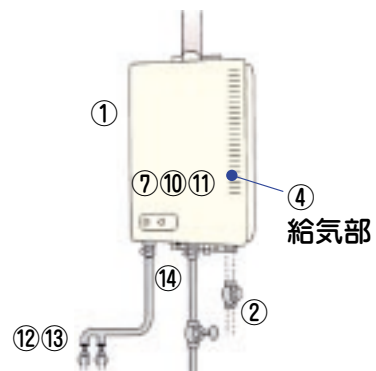
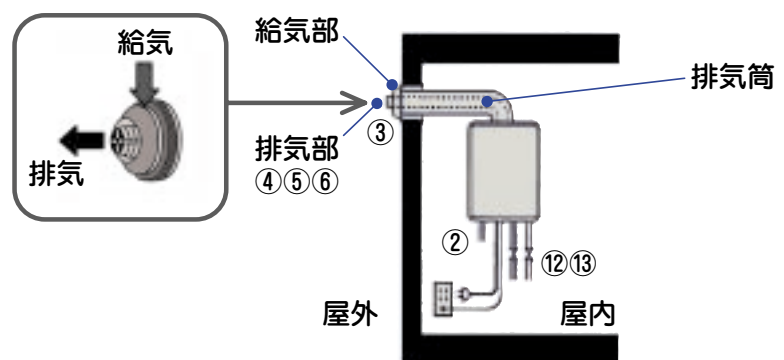
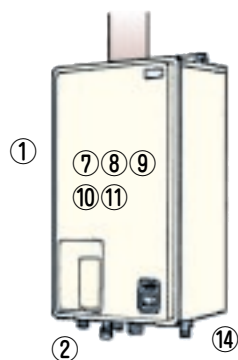
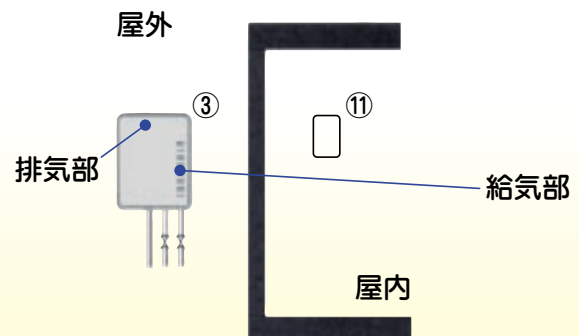
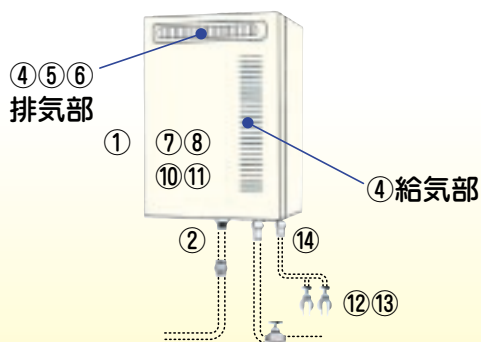
＊各劣化チェック項目について該当箇所がない場合は、兆候有無の「ー」に〇をつけてください。
＊当点検は、日常及び長期使用経過時の点検事項です。
＊不具合の兆候を発見次第、専門家（商品購入先または、メーカー）へ速やかにご連絡ください。
＊この製品の内、屋内設置タイプについては消費生活用製品安全法　特定保守製品です。
別途、特定製造事業者（メーカー）の法定点検を受けていただく必要があります。詳細は、取扱説明書をご参照又は、メーカーへお問い合わせください。

商品購入先： メーカー名：	品番（取扱説明書を参照）：	製造年月日または取付年月：	使用年数：

点検部位等（図を参照）		劣化チェック項目 補　足	兆候有無	経年劣化進行に伴い予想される具体的事象（危害情報等）
本体	①	外装に変色、さび、穴あき、変形がある ・側面、底面も確認	有　無　ー	熱交換器部不良での異常燃焼、漏電、火災
	②	不使用時にガスのにおいがする ・すぐに使用を中止してください	有　無　ー	接続部不良でのガス漏れ 海に近い地域の場合、潮風により機器本体、配管部に錆が発生する場合がある
	③	機器や給排気トップの周辺に洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶等燃えやすいものがないか	有　無　ー	火災
給排気	④	給気部、排気部のつまりがある	有　無　ー	給排気不良により不完全燃焼が発生 給排気部のつまりは除去して下さい
	⑤	排気部などにすすなどが付着している	有　無　ー	排気不良により不完全燃焼が発生
	⑥	排気筒周辺に変色、汚れが多く見られる ・錆、穴明き及び接続部のグラツキの有無を確認してください	有　無　ー	排気筒不良で排気ガスの漏れが発生する
作動	⑦	燃焼音が異常である ・初期より大きな燃焼音、不連続的音がしないか確認	有　無　ー	燃焼部不良により不完全燃焼・異常過熱
	⑧	排気臭がきつくなる（排気臭を感じる）	有　無　ー	燃焼部不良で不完全燃焼
	⑨	お湯を出した時に大きな音（着火音）がする	有　無　ー	点火装置の不良により着火爆発
	⑩	点火しにくくなる ・初期より点火しにくくなっていないか確認してください	有　無　ー	点火装置部の故障、着火爆発
	⑪	リモコンにたびたびエラーがでる（※1）	有　無　ー	機能部品の故障
性能	⑫	出湯温度が異常に高い（※2）	有　無　ー	湯温制御部故障でのやけど
	⑬	出湯温度が異常（低い・不安定）である（※2）	有　無　ー	リモコン、水量制御部等の機能部品故障
	⑭	水漏れがある	有　無　ー	機器が錆びて故障、漏電

表中の（※1）（※2）は21ページの解説図④リモコン、⑥⑦出湯温度をご参照ください

<解説図>ガス給湯器

屋内設置
小型開放式タイプ

屋内設置
FEタイプ

屋内設置
FFタイプ

屋外設置
RFタイプ

※機種（品番）により、部品の有無、形状等が異なります。詳細は、取扱説明書をご参照又は、メーカーへお問い合わせください。

3　給湯機器まわり／(2)石油給湯機

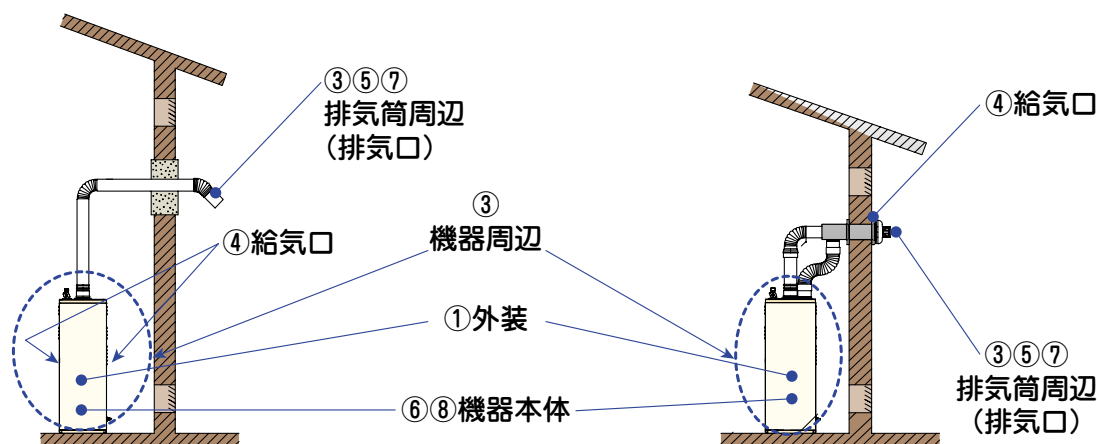
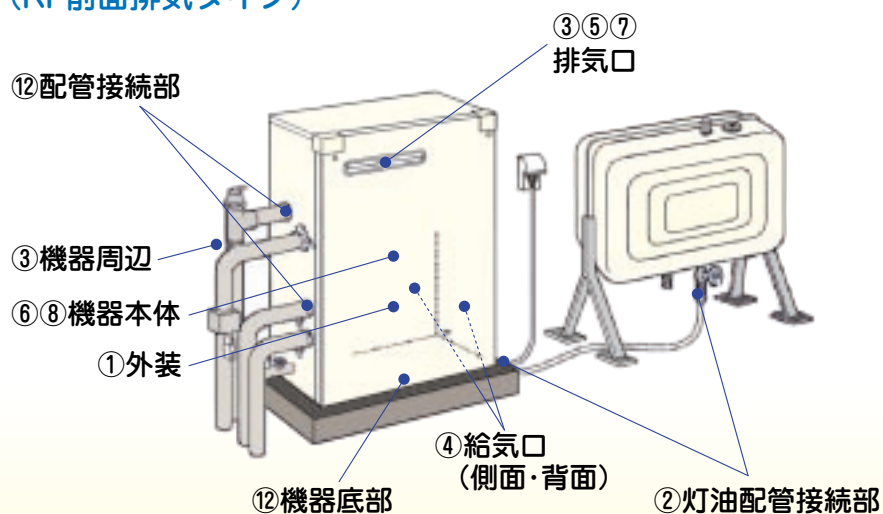
＊各劣化チェック項目について該当箇所がない場合は、兆候有無の「－」に○をつけてください。
＊当点検は、日常及び長期使用経過時の点検事項です。
＊不具合の兆候を発見次第、専門家（商品購入先または、メーカー）へ速やかにご連絡ください。
＊この製品は消費生活用製品安全法　特定保守製品です。別途、特定製造事業者（メーカー）の法定点検を受けていただく必要があります。詳細は、取扱説明書をご参照又は、メーカーへお問い合わせください。

商品購入先： メーカー名：	品番（取扱説明書を参照）：	製造年月日または取付年月：	使用年数：

点検部位等（図を参照）		劣化チェック項目 補　足	兆候有無	経年劣化進行に伴い予想される具体的事象（危害情報等）
本体	①	外装に変色、さび、穴あき、変形がある ・側面、底面も確認	有　無　－	熱交換器部不良により異常燃焼、漏電、火災
	②	不使用時に灯油のにおいがする ・すぐに使用を中止してください	有　無　－	灯油配管接続部の緩みにより灯油漏れ 長期間の使用ではゴム製送油管にひび割れが発生する場合がある
	③	機器や排気口、排気筒周辺に洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶等燃えやすいものがないか	有　無　－	火災
給排気	④	給気口につまりがある ・ほこりつまりの有無を確認	有　無　－	給気不良により不完全燃焼 給気口部のつまりは除去してください
	⑤	排気口にすす付着、排気筒周辺に変色または汚れが見られる ・排気筒は錆、穴明き及び接続部のグラツキの有無を確認	有　無　－	排気不良により不完全燃焼 排気筒不良により排気ガス漏れ
作動	⑥	燃焼音が異常である ・初期より大きな燃焼音、不連続的な音または振動的な音がする	有　無　－	燃焼部不良により不完全燃焼・異常過熱
	⑦	排気臭がきつくなる（排気臭を感じる）	有　無　－	燃焼部不良により不完全燃焼
	⑧	お湯を出した時に大きな音（着火音）がする ・機器本体から着火時にボーンという音がする	有　無　－	点火装置不良により着火爆発
	⑨	リモコンにたびたびエラーがでる（※1）	有　無　－	機能部品の故障
性能	⑩	出湯温度が異常に高い（※2）	有　無　－	湯温制御部故障によりやけど
	⑪	出湯温度が低いまたは不安定である（※2） ・お湯を出した時、冷たくなったり、熱くなったり、一時的に不安定となるのは機器の故障ではありません	有　無　－	リモコン、水量制御部等の機能部品故障
	⑫	水漏れがある ・機器本体底部、配管接続部を確認	有　無　－	機器が錆びて故障、漏電

表中の（※1）（※2）は21ページの解説図④リモコン、⑥⑦出湯温度をご参照ください

＜解説図＞石油給湯機

屋内用半密閉式強制排気形（FE）　屋内用密閉式強制給排気形（FF）

屋外設置形（RF前面排気タイプ）

※機種（品番）により、部品の有無、形状等が異なります。詳細は、取扱説明書をご参照又は、メーカーへお問い合わせください。

3 給湯機器まわり／(3)電気給湯機

＊各劣化チェック項目について該当箇所がない場合は、兆候有無の「ー」に○をつけてください。
＊当点検は、日常及び長期使用経過時の点検事項です。
＊不具合の兆候を発見次第、専門家（商品購入先または、メーカー）へ速やかにご連絡ください。

商品購入先： メーカー名：	品番（取扱説明書を参照）：	製造年月日または取付年月：	使用年数：

点検部位等（図を参照）		劣化チェック項目 補　足	兆候有無	経年劣化進行に伴い予想される具体的事象（危害情報等）
本体	①	外装にさび、穴あき、変形がある ・側面、底面も確認	有　無　ー	穴あき部から雨水が浸入し、漏電
	②	ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものがないか	有　無　ー	能力低下、故障
	③	機器の近くに可燃性ガスや引火物等がないか	有　無　ー	火災
作動	④	リモコンにたびたびエラーがでる	有　無　ー	機能部品の故障
	⑤	ヒートポンプユニットの運転音が大きい ・初期より大きな運転音、不連続的な音がする	有　無　ー	能力低下、故障
性能	⑥	出湯温度が異常に高い	有　無　ー	湯温制御部の故障によりやけど
	⑦	出湯温度が低いまたは不安定である ・お湯を出した時、冷たくなったり、熱くなったり、一時的に不安定となるのは機器の故障ではありません	有　無　ー	リモコン、水量制御部等の機能部品故障
	⑧	水漏れがある ・機器本体底部、配管接続部を確認	有　無　ー	機器が錆びて故障、漏電

＜解説図＞電気給湯機（エコキュート）

※機種（品番）により、部品の有無、形状等が異なります。詳細は、取扱説明書をご参照又は、メーカーへお問い合わせください。